

地方在住エンジニアを盛り上げましょう！

2011年12月1日

株式会社倉敷ケーブルテレビ

小山 海平

コンセプト

- 目的の近い人・組織が寄り添えば、きっといいことが出来る。
 - Open Sourceを手掛け始めた'93年頃から言い続けている。
 - 会社とか組織の枠を越えて、何か成果を上げるのはカッコいいのでは。
 - 枠外からの評価を枠内に反映すればいい。
 - 寄り添うためには、目的を近づければいい。
 - 開発でもサービス提供でも。
 - お客様視点ってそういう事かなと。

目的のキーワード

- ◎ 地域

- 経済だったり雇用だったり環境だったり。

- ◎ 業種・業界

- CATV、ISP、ネットワーク技術者

- ◎ 世代

- おじいさん、中年、若手

取り組んできた事 - 1

- ◎ 岡山という地域で、安くて高品質なインターネットの接続性が欲しい。
 - 地域・CATV（業界）・競合でないという非常に目的に近い連携が可能だった。
- ◎ MSOじゃないので、大量コミットは出来ないけど、安い値段で機器を買いたい、運用したい。
 - モデム共同購入
 - 保守部材の共有

取り組んでできた事 - 2

- ◎ 少ない技術者で運用が不安だから、いざという時は寄り添いたい。
 - 他社のネットワーク担当も兼務したり。
 - スポットの保守契約を結んでみたり。
- ◎ CATVのコミュニティチャンネルをもっと充実させたい。
 - 番組流通
 - 中継ネットワーク

現在

- どの取り組みも何らかの形で継続はしている。
- ただ、成果には差があるのも事実。
 - もっとも成果が上がったもの。
 - 上位接続性に関しては、CATVのみならずiSPやiDCに展開。自前の足系はかなりの率、何らかの形でトラフィックを流してもらってます。

どの取り組みにも必要だったもの

- ◎ 人のつながりの的なHUBの存在と組織的なHUBの存在。
 - 冠だけでもいいから、組織的なHUBも必要。
 - 協会、Hogehoge支部
 - 最初に起こしていく時は、人のHUBが必要。
 - これがあれば必ずうまくいくとは言えないが、少なくとも無いと進んでいかない。
 - 一定のスキームまでいけば、人のHUBは不要になってくる。
 - 虎は死んで皮を残し、人は死んで名を残す。
- ◎ ビジネス的な成果。
 - 継続性の確保。

まとめ

- ◎ いろいろな地域で、地域内連携が進んでいってほしい。
 - 死して名を残せ！とは言えませんが...
 - 誰かHUBになって欲しい。
 - 本当の競合相手は、全国規模の会社さんが多い。少なくとも、地域内では仲良くしないと。
 - でも全国規模の会社さんとも仲良くしますっ！
- ◎ 人材教育とか人事交流に取り組んでいきたい。
 - 地域力、地域の経済力って、人材の力でもある。
- ◎ いざという時の連携
 - 災害時の協定とかは結んだりしてますが...
 - 今年ははがゆい思いをした年でもあった。
 - みなさまのご意見を